

大下藤次郎 （藤次郎） 洋畫家。明治二年七月九日東京生れ、四十四年十月十日歿（二七〇—一九二）。筆名ふぢ、大下生、大下藤、汀鷗、汀鷺生、丁、〇、生。中丸精十郎、次ぐ原田直次郎に師事し、原田を介して森鷗外の知遇を得る。水彩畫を能くして一字花口と親交。大正洋畫會創立に會貫。明治二十八年春信會を興し、雜誌『ウヅル』を創刊。翌年日本水彩畫會を創設。鷗外執筆の年譜がある。

著書『水彩畫の榮』（明治二十四年六月十二日新聲社。再刊・四十二年九月）二十五日大阪・藤谷崇文館）、『寫生畫の研究』（明治四十四年八月）二十日岩田徳太郎刊、白雲書店發賣）等。

